

- ▶ 宇美町では、森林環境譲与税の活用初年度である令和元年度から令和2年度にかけて、公共施設内設備の木質化など木材の普及・啓発活動に取り組み、森林整備への理解醸成を図った。さらに、令和3年度から令和5年度にかけては、要望のあった危険性の高い私有林において伐採作業を実施してきた。
- ▶ 令和6年度においては、以下の取組を行い森林整備の促進に繋げた。
 - ・ 公園内の林道沿いに隣接する私有林の危険木について、自治会からの要望を踏まえて危険度を判定し、伐採を実施した。
 - ・ 町内の私有林を対象に森林経営管理に関する意向調査を実施し、私有林の計画的な維持管理に向けた検討資料を作成した。
 - ・ 私有林所有者から提出された伐採届および所有者変更届について、固定資産情報と一体的に管理できるよう林地台帳システムへ反映した。
- ▶ 令和7年度においては、引き続き危険木の伐採や林地台帳システムへのデータ反映を実施し森林整備を進めるとともに、森林経営管理意向調査を行い、私有林の計画的な維持管理を推進する予定である。

□ 事業内容

1 危険木伐採事業

- ・ 公園内の林道沿いに隣接する私有林の危険木について、自治会からの要望を踏まえて危険度を判定した。その後、優先順位を決めた上で、森林所有者と協定書を締結し、伐採を実施した。

【事業費】 2,365千円（うち譲与税2,365千円）

【実績】 伐採面積A=4,200㎡



（事業1：着工前）



（事業1：竣工）

2 森林経営管理意向調査事業

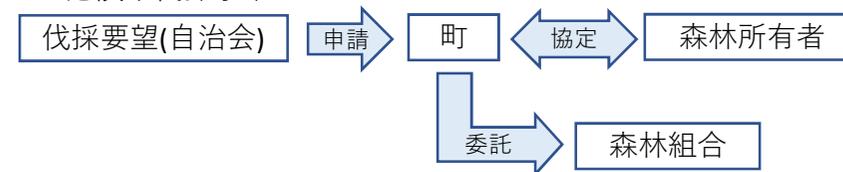
- ・ 町内の私有林を対象に森林経営管理に関する意向調査を実施し、私有林の計画的な維持管理に向けた検討資料を作成した。

【事業費】 974千円（うち譲与税974千円）

【実績】 計画対象面積A=約24ha

□ 事業スキーム

1 危険木伐採事業



2 森林経営管理意向調査事業



□ 工夫・留意した点

- ・ 1の事業については、危険木の危険性を点数化して優先順位を決定できるように、事業実施前に配点表やHP公表資料を作成し、事業内容を整理したうえで実施した。

□ 基礎データ

①令和6年度譲与額	6,860千円
②私有林人工林面積（※1）	427.00ha
③林野率（※2）	59.9%
④人口（※3）	37,671人
⑤林業就業者数（※4）	0人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3、4：「R2年国勢調査」より